

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日 ～ 令和3年 3月31日
3. 業務の範囲	(1)図書館法第3各号に規定する事項に関すること。 (2)図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3)市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4)読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5)図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	年次報告書P270(利用冊数) ※平均値比●% =(H30度実績)÷(過去2年間実績平均値) 開館日数:日(H30:299日、過去2年間平均日数:296日) H30:69,380冊 過去2年間平均:62,834冊 (H29:64,149冊、H28:61,518冊)	5点				
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	年次報告書P.270(利用人数) ※平均値比●% =(H30度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 開館日数:日(H30:299日、過去2年間平均日数:296日) H30:14,424人 過去2年間平均:12,671人 (H29:13,123人、H28::12,219人)	5点				
			(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P273～277(文化事業一覧) ・子ども情報センタースペシャルサンクスデイ 142人 ・たじみ子どもの権利の日協賛事業 みんなでつくろう!ぼく・わたしのニュータウンTAJIMI 280人 ドリームクラウド 115人 ・企画展示 57回	仕様書以上 14点	・子どもたちの興味を引く内容に加え、多治見市在住のイラストレーターに協力を得て夢あふれる楽しいイベントを実施することができた。 ・子ども情報センターが多治見での子育てを支える施設として捉え、子どもと保護者のニーズを把握し、図書館分館を十分に生かした親子事業を提案、実施することができた。	14点			
			(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P273～277(文化事業一覧) 【たじみアグレッシブ部】 多治見工業高校吹奏楽部、多治見高校演劇部、多治見西中・西高校クイズ研究部、西高校茶華道部、多治見北高美術部、音楽部 ・やってみよう読み聞かせGO!84人 ・ぬいぐるみのおとまりかい 42人、ワークショップ:絵本作家を招いた迷路づくり 63人 ・おはなしのかい ぼっぼ、Eーぼっぼ ほか ・わくわく親子講座、子育てママのスタート講座 ・夏休み企画 おたすけ窓口8回 217人、朝日小学生新聞の社員と作る夏休み家族新聞10人 ・子ども夢ネット(高校生も参加) ほか	期待以上 14点	・地元高校生が自ら考えたワークショップや読み聞かせを実践。子どもたちとふれあう機会を通じ、ボランティアへの意欲を高めるきっかけとなった。 ・子育て中の母親向けの講座を開講し、母親同士の交流を促進することができた。 ・図書館を身近に感じてもらうための斬新な新規企画を提案、実施することができた。 ・情報誌を幼・保育園児、小・中・高校生が共同で制作することができた。	14点			
施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	子ども情報センター:年次報告書P285(維持管理業務) 定期清掃、日常清掃を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点					
		②保守・点検			子ども情報センター:年次報告書P285(維持管理業務)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。						
		③保安・警備			子ども情報センター:機械警備業務を委託して実施(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。						
		④小規模修繕			子ども情報センター:年次報告書P285(有償修理の内訳) 有償修理 全6件 総額 134,128 円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。						
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・月2回の日常点検及び年2回の定期点検をチェックシートに従い実施し、全職員が担当することで、予防保全の観点からの建物管理を徹底、不具合(異常、故障等)箇所の早期発見に努めた。例えば、建物の壁部分に小さな亀裂が何か所かあったが、早期に発見し、簡易補修を行い、改修費を最小限に抑えることが出来た。施設の長寿命化を考えるとともに事故等を未然に防止するよう点検作業を実施している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。						

2	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・多治見市のファイリングシステムに準拠する方法により、適切に文書管理を実施。不要な文書は作成しないことを心がけるとともに保管場所は退社時に施錠。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
		②環境への配慮			・敷地内の緑化スペースを確保し、夏場の職員による細目な剪定と業者による年2回の植木の剪定、花壇の整備を計画的に実施。 ・空調に頼らない室内環境を心がけ、窓にはUVカットのシートを張り、ブラインドを全開にすることで、時間によっては3/5の蛍光灯を消灯、節電効果につなげている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③バリアフリー			・障がいのある方が利用される場合には、その都度職員が対応する体制をとっている。 ・道路から玄関までのスロープに危険がないかどうか毎日チェックし、安全を確認している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④備品管理			・備品はすべて定位置を決めて保管し、必要以上に在庫を持たないことで、管理棚の省スペース化を徹底し、取り出したい備品がすぐに見つかるようにしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤個人情報保護			・図書館システムのサーバーは、事務用回線から独立させ、情報流失防止対策を取っている。 ・各種申請書など個人情報が記載されている書類は、確認処理が済み次第シュレッダーで粉碎処理をしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	なし。	事故なし・対応に不備なし 0点		0点	
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入284,349,206円÷支出284,762,820円＝100% 学習館、子ども情報センター、市民活動交流支援センター含む。	105%未満～100% 4点		4点	
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	保護者の声からうまれた親子講座 みんなで歌おう!クリスマス☆ゴスペル ・子どもを対象にした音楽講座を開催するうち、保護者から正しい発声方法やみんなで歌う楽しさを味わいたいとの要望があり、ヴォイストレーナーに親子ゴスペルの講座を依頼。赤ちゃんをだっこしながら歌うなど、温もりのある講座を開講することが出来た。今後も保護者の要望を伺いながら、親子で参加できる講座を取り入れていきたい。 地域のベビーステーションへ ・乳児のおむつ替え時にベッドの消毒をしたいという申し出により、感染症対策にもなるハイターにて消毒を実施。以後は、使い捨てのおむつ替えシートを常備し、感染予防に努めている。地域のイベント時にベビーステーションとしての役割を担うこともあり、保護者へのアンケートを実施する等、ニーズを捉え、変化に対応した施設運営を行っていきたい。 命を守る暑さ対策 ・体温超えの気温が続き、講座に参加する赤ちゃんとお母さんにとっては、命の危険を感じるほどの暑さとなった。来館時には、冷たいおしぼりや保冷剤を準備して体を冷やせるよう対応。講座終了時には、自動車内の温度を下げてもらう間、赤ちゃんをお預かりするなどの対策を図った。また、図書室内でのペットボトル、水筒等、蓋の閉まる容器での水分補給を解禁。トラブルもなかったため、今後も、各自のタイミングで水分補給をして頂くようにする。	期待以上 9点	・さまざまなニーズに迅速かつ適切に対応している。 ・保護者の声から、赤ちゃんをだっこしながら歌うなど、親と子のふれあいを大切にした温もりのある講座が開催された。 ・猛暑時の来館者に対し、冷たいおしぼり、保冷剤の準備、水分補給の一部解禁、車内の温度を下げる間の赤ちゃんの預かりなど、きめ細かい対応がされている。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	特になし。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に適切に対応している。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・子育て中の保護者を支援していく事業として、「子育てママのスタート講座」年間8講座、「わくわく親子講座」年間10講座を開講するとともに、図書館分館という特徴を十分に生かした親子プログラムを提供することが出来た。 ・絵本は、子どもにとってあそびのツールであり、親と子の大切なコミュニケーションツール。子どもの健やかな成長と多治見での子育てを支える取り組みとして、豊富な絵本を活用した内容を企画、各プログラムの開催に合わせ、月齢、年齢に応じた図書(絵本)の企画展示を行い、絵本の楽しみ方や図書館利用をサポートしていく。 ・伝えることから始める出会いの場 スマイルプロジェクトは、子ども達に、お気に入りの絵本を1冊選んでもらい、フォトフレームで紹介。100名ほどの参加があり、各年代のおすすめ本が出そろい、年代別の絵本の紹介冊子が出来た。今後は、好きな絵本のタイトルを背表紙の形の短冊に書いてもらい、みんなの好きな1冊で壁を埋め尽くす「理想の本棚展」に発展させる予定。 ・おはなし大好き!ママと赤ちゃんのためのブックトークは、英語のおはなしの会等、講師から絵本の選び方のアドバイスを受けられるようにしたことで、借りやすくなったといった声が聞かれた。また、職員のブックトークで、参加者のみなさんにより絵本の世界を広げていただくように工夫していく。更に今後は、絵本専門士による絵本の選び方ミニ講座等、要望に応えていく。 ・多彩な子育てママのスタート講座 プチレッスンから広がるママ友の輪は、子育て中の母親たちにゆったりとした時間を過ごしながら創作を楽しんでもらおうと、ロゼット作りの講座、親子でおそろいのニット帽、ボンボンチャーム作りのリンクコーデ講座を開講。なかなか1人ではできない編み物を、楽しく出来る場の提供と母親同士の交流を促進することができ、物作りの楽しさを味わいながら、賑やかなひとときになった。今後も、ママたちの子育てに必要な施設であり続けるよう多彩な講座を提案していく。	期待以上 14点	・より良い施設運営・事業実施のための提案がされている。 ・特に高校生の活躍の場を支援することができた。 ・子育て中の保護者の支援事業が活発に行われている。	14点	

5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3		遅れ・不備なし 減点なし		0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
		合計	100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ・図書館をより身近に感じるよう工夫され、斬新な新規企画を催すなど利用率の大幅な増加につながっている。 ・地元高校生たちの部活動の発表をする場を提供するとともに、子どもたちと触れ合う機会を与え、ボランティア意欲を高めるきっかけとなっている。 ・子どもだけでなく、子育て中の親たちの講座も充実させ、子育てを支える施設としての事業展開がされている。 ・利用者の意見や要望に迅速に対応している。 ・全体的な施設の管理運営については、良好に行われている。	合計89点	極めて良好